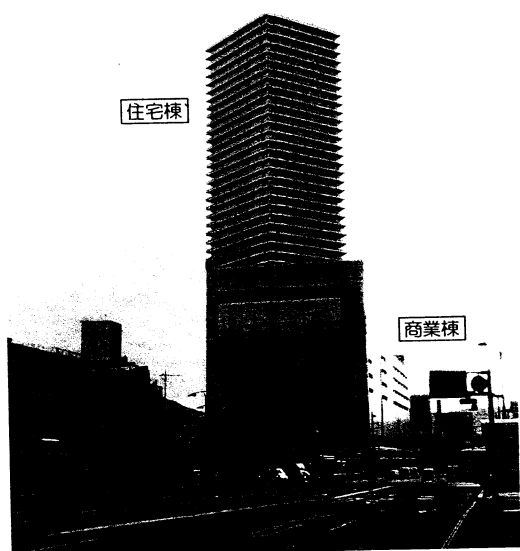


広島市駅前 再店開しないと 再開発組合のパチンコ屋さん

(1) 現地状況写真 (エールエールA館からマツダスタジアム方面を望む)



建設業務代行者 (ABILITY10)

区分	構成員
総合企画者	森ビル都市企画 戸田建設一級建築士事務所 (設計)
特定業務代行者	㈱アール・アイ・エー九州支社 (設計) 戸田建設㈱広島支店 (施工)
保留床取得者	㈱エディオン (商業)
	㈱NIPPPO (住宅)
	ミサワホーム中国㈱ (住宅) 旭化成不動産レジデンス㈱ (住宅)
準構成員	㈱ゼクシス (スポーツ施設運営管理)
	㈱アイアメンティ・㈱アイディーオー (管理運営)



市議会都市活性化特別委員会の視察で広島市の再開発の説明を受けました。

関心しましたのは、地権者の方が「自分の家業は継続しないと決められて再開発に尽力されている点でした。

開発の構成員は、森ビル、戸田建設 (メディコス、高島屋南再開発) とよく聞く企業名をお聞きしました。保留床取得者は上記表のとおりです。

岐阜駅前の再開発

穂田市長、浅野市長時代からの尽力が、ようやく成果に

広島駅南 C ブロックの事業は、昭和56年に基本計画を策定されています。再開発準備組合設立は平成16年。準備組合が森ビル都市企画 (株) を事業コーディネーターに決定したのは平成20年、再開発設立認可は平成24年で工事着手平成26年です。

岐阜駅前にも高いビルが2棟建っていますが、ビルのテープカット時の市長は概ね企画・尽力をされた市長ではない場合が多いと思います。再開発は多くの地権者や市民の理解をお願いすることになり、発案から成果まで長丁場。市長の公約が任期内に成果と成る事は大変です。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

教育立市の再点検 必要

アルマーニ標準服 8 万円？ が話題になっています。この話題で、公教育、義務教育の姿が、しばらく論じられる事になりそうです。

松原のりかず が小中学校の時代は靴下の親指やカカトのところがよく穴が開きました。母親が布を当てて縫うのを当たり前のように思っていた我が家でした。小学校では制服はありませんでしたが、中学では詰襟の学生服でした。黒ズボンはすぐ膝が擦り切れて、これも布を当てて、ミシンで丈夫に縫ってもらいました。新品の制服を着れるのは嬉しい事でした。

現代では、そんな家はないでしょうか？ 「子どもの貧困」「格差」は話題になり、生活保護の担当課は、本庁舎にあった 1 つの課は、南庁舎に移動してから課は二つに増設され課長は 2 人になりました。「貧困の連鎖」を断ち切らなければなりませんし、自治体の仕事は、全てのこどもに「こころ穏やかに」教育を受けてもらえる環境を確保することではないでしょうか。

公教育、義務教育の大きな仕事。とりわけ基礎自治体における仕事は「教育の底上げ」であり、一部のエリート教育や塾や職業教育の代行ではないはずで、格差、貧困の連鎖と、「差別意識の拡大」は無縁ではないと思います。

働く家庭のための「学童保育完全 6 年制」「学校給食無償化」「病児保育」「こども食堂」等々は、安倍首相が言うまでもなく義務教育の場の大きな課題。まず、今ある制度の充実に努力したいものです。



松原のりかず
☎058-253-2500